

鎌倉市、エン・ジャパンを通じ 新設ポジション「教育行政職」2名を採用！

エン・ジャパン株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：鈴木孝二）は、2023年12月に鎌倉市の『ソーシャルインパクト採用プロジェクト』（<https://www.enjapan.com/>）を実施。新設のポジションである「教育行政職」2名の採用が決定しました。下記、鎌倉市教育長・高橋氏のコメントと、採用者2名のコメントを紹介します。



プレスリリース <https://corp.en-japan.com/newsrelease/2023/35334.html>

特設ページ https://www.enjapan.com/project/kamakura_2312/

※上記プレスリリースや記事は公募開始時（2023年12月4日）に掲載されたものです。

鎌倉市教育長 高橋 洋平氏 コメント



教育に携わる皆の願いは、誰かに言われたから仕方なく学ぶということではなく、ワクワクしながら主体的に学び続ける子どもを育てたいということだと思います。

鎌倉市教育委員会では、いかに変化の激しく不透明な未来になろうとも、子どもたちが「炭火」のように生涯にわたって主体的に学び続け、自ら幸せを掴みとれるよう、学びのあり方を探究しています。

このような子どもたちの主体的な学びと、教育行政職の仕事は「相似形」であると考えます。この度入庁した教育行政職の皆さんには、学校現場や民間で培った経験を生かし、教育と行政の両方に軸足を置き、教育行政の奥深い世界を主体的に探究して欲しいと思います。

我々の仕事のひとつひとつの向こう側に子どもたちがいる！という熱い思いを持って、丁寧に仕事していきましょう。学校や子どもたちの学びを支え・助け・励ます「伴走する教育委員会」の一員として力を発揮していただくことを心から期待しています。

教育行政職 採用者コメント

渡辺 和弥 氏

上智大学文学部英文学科卒業後、英語科の教諭として川崎市の中学校に勤務。その後、私学の中高一貫の男子校にて10年間勤務。博物館学芸員資格を取得し、「学校と美術館・博物館を繋ぐ」をテーマに、米国スミソニアン博物館群やMoMAなどで探究学習を行なう海外学習プログラムを立ち上げた他、全文化部の作品を網羅するオンラインミュージアムサイトを製作。部活は軽音楽部を新たに立ち上げ、90名を超える部活に。2024年4月より鎌倉市教育委員会へ。



前職では11年間、学校の教員をしておりました。学校教育は近年、大きな転換期を迎えており、私自身も個別最適な学びや多様性を重んじる教育実践に取り組んでまいりました。

同時に学校教育が抱える様々な課題に直面することも多く、教員の立場だけではなく、行政の立場からも教育に携わり、幅広い実務経験を積みたいと考えていたところ、鎌倉市が全国的にもめずらしい教育行政職の募集を行なうことを知り、応募させていただきました。

社会の急速な変化に伴い、学校教育に求められるニーズも多岐に渡りますが、子ども達の思いや声を大切にし、学校や地域の方々と共に教育を考えていきたいです。すべての子ども達が安心して、自発的に学べる鎌倉市の教育の発展に貢献していきたいと思っています。

小泉 志信 氏

東京学芸大学教職大学院卒業後、東京都の公立小学校教員として勤務。教員1年目時に起業した、一般社団法人まなびばれっとを運営しながら教育現場で活躍。その後教員4年目に板橋区立板橋第十小学校で1,000人の大人と子供が出会い人生設計を考える探究学習を実践。教員1年目に寄り添う「はじめてのせんせい」プロジェクトや、教育関係者向けオンラインコミュニティ「キャンパス」での他業種とのコラボイベント等を通して、教員と教員以外の方が混ざり合う未来の実現に向け邁進している。2024年4月より鎌倉市教育委員会へ。



私はこれまで学校現場で多くの企業や地域の方と手を取り合いながら授業を形にしてきました。新しい挑戦をする中で、一教員として限界を感じていました。

同時に起業家として可能性を感じた一方で、異なるアプローチからより多くの先生や子供たちが幸せになるための学校文化作りに挑戦したいという気持ちが強くなりました。

鎌倉市は豊かな自然や文化財があるだけでなく、教育委員会が取り組んでいる「鎌倉スクールコラボファンド」を始め、学校と企業や地域人材が手を取り合い子供たちの未来を形にしようとしています。これまでの経験を生かしながら、教育行政職という新しい角度から学校や先生に寄り添い、伴走していく中で子供の未来のために貢献していければと思っています。

本プロジェクトにおける当社支援サービス

プレスリリースや特設ページ、Web広告での告知に加え、各求人サイトでの集客支援を実施。『エン転職』『AMBI』『ミドルの転職』とターゲットの異なる3つの求人サイトを活用することで、ターゲットへ網羅的に求人を届けました。



「ソーシャルインパクト採用プロジェクト」とは



社会的なインパクトが特に大きい人材採用「ソーシャルインパクト採用」を、エン・ジャパンが全社を挙げて支援するプロジェクトです。中央省庁の幹部候補、自治体の副市長やDX担当、さらにはNGO/NPO・スポーツ団体・志ある企業の中核メンバー……等々、さまざまな募集を「入職後の活躍」までこだわって支援しています。優れた能力を「より良い世の中を作るため」に使いたい方と、より良い世の中を作るために優れた人材の力を必要とする団体を結びつけ、社会の課題解決を加速させていく一大プロジェクトです。

プロジェクト公式サイトはこちら ▶ <https://www.enjapan.com/>

プロジェクト参画のご相談、取材・セミナーの登壇依頼などお気軽にお問合せください。

担当：中林 TEL：03-3342-6590 / MAIL：social_impact@en-japan.com

2023年7月、『ソーシャルインパクト採用プロジェクト』は
支援プロジェクト数が100件に到達しました！

<https://corp.en-japan.com/newsrelease/2023/33634.html>

プロジェクト経由入職者の活躍に迫るYouTube番組『Impactors』
『ソーシャルインパクト採用プロジェクト』公式YouTubeチャンネルで公開中！

https://www.youtube.com/@socialimpact_en

■ 第1弾



<https://youtu.be/P7t3GywYJRU>

■ 第2弾



<https://youtu.be/OCyyr1YcwaQ>

本ニュースリリースに関する
お問い合わせ先

広報担当：清水・高田・齊藤・高田（竜）

<https://corp.en-japan.com/>

〒163-1335 新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー

TEL : 03-3342-6590 MAIL : en-press@en-japan.com